



発行所 三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
Tel 0875-25-3761
http://www.niji.jp
/home/kazuo-t
/mitoyosibu1

産育休代替教員「先読み加配」を 4月より活用せよ！ =組合= 充実した配置をしたい！ =教育長=



要求を聞き取る長尾卓也教育長



要求をするよくする会の代表

「三豊・観音寺市教委に30人以下学級実現など要求」
三豊・観音寺の教育をよくする会（澁谷光博会長）は署名に協力してくれた諸団体の仲間と共に一月二六日観音寺市の三野正教育長、一月三〇日三豊市の長尾卓也教育長に少人数学級拡大などを要求しました。

パワハラ・困った時の
相談は、香教組・三観
支部へも連絡OK！

三豊市教育委員会教育長 長尾 卓也 殿
観音寺市教育委員会教育長 三野 正 殿

三豊・観音寺の教育をよくする会会長 澁谷光博

ゆきとどいた教育を求める要求書

【要求の趣旨】

いまコロナウイルス感染と貧困と格差拡大が子どもたちの教育に大きな影響を与えています。私たちは日本国憲法、子どもの権利条約に基づいて、すべての子どもたちに確かな学力と民主的な人格を形成する教育を実現しなければならぬと考えています。こうした趣旨の下に「ゆきとどいた教育を求める香川県署名」に取り組み、今年度は三豊・観音寺市で約1650筆を越えて集約しました。その活動の中で、三豊・観音寺の教育について以下のような声があがっていました。早急に改善されるよう強く要求します。

【要求事項】

- 1 教職員の過労死を招く変形労働時間制を市で強制しないでください。
- 2 全国学力テストや学習状況調査はやめるよう働きかけてください。
- 3 子どもと直接向き合う正規の教職員を増員するよう国や県に働きかけてください。そして、「三密」を避けるためにも20人学級を実現するよう国や県に働きかけてください。また、特別支援学級の定員数を改善するよう国や県に働きかけてください。
- 4 教職員の勤務時間を守るよう指導してください。また、教職員の多忙化を解消するために多忙化の原因を分析し、多忙化を解消してください。
- 5 小・中学校の教材費、給食費など学校納付金を無償にしてください。
- 6 小学校の外国語活動、ICT教育について、子どもたちや教師の負担増にならないようにしてください。
- 7 子どもたちに安全でおいしい給食を提供するために、地産地消の推進、そして、安全な食材で、ていねいな調理をしてください。また、大型給食センター建設は、PFIを見直してください。
- 8、その他（夏休み短縮・土曜授業・パワハラ・学校訪問の簡素化・ICカードのデータ希望・不登校児や問題行動児の増加等）

長尾卓也教育長は、「二年単位の変形労働時間制」について、「強制することはない。（現場の状況を聞きながら）」と答えた。
よくする会の「過去問題では管理職が印刷・斡旋した例がある。」の質問に対して、「過重負担や本末転倒があつてはならない。」と答えた。
30人以下学級実現に対しては「全ての小中学校で35人学級をが実現した。31人より多いのは

小学校で6学級、中学校で8学級である。」と回答した。
多忙化解消・正規教職員増員については、「講師等、市で手配したいと考えているが、教育のブラック企業化などにより人数不足である。」と回答した。
文科省の産育休代替を4月から加配する措置である「先読み加配」については、「充実した配置をしたい。」と答えた。
ICT環境の制限が厳しく働きにくい。（ICT要望書の提出、管理職への届け出制、カラーコピーの枚数制限、教員一人に一台なし・・・）に関して、「現場の実体を知るための調査である。教員のタブレットは来年度増やす予定である。」
給食費無償化について、「来年度からは市が集金業務をする。支払いについては受益者負担である。」と答えた。
学校統廃合で地域が衰退する意見に対しては、「3月に地域協議会を立ち上げ進めて行く。中学校が3校・4校等は、今の所は白紙である。声を聞きながら進める。」と答えた。

三野正教育長は、「一年単位の「変形労働時間制」について、今のところ予定はない。」と答えた。
全国学力テスト・学習状況調査などの過去問題を授業をつぶしてでも実施するなど石川県では問題（香川県でも近い状況あり）になっているが、もうやめてはどうか。の意見に「テストを参考に改善したり、単元のまとめとしたりすることは大切である。」と答えた。
「正規の教職員の増員を。」の要望には、「35人以下学級

○香川でも「一年単位の「変形労働時間制」を導入できる改正給特法」が法制化された。しかし、学校現場は年中忙しく、学期中が繁忙期だからといって勤務時間を延ばせば、仕事量は減っていないので、更に退庁時刻は遅くなる。長期休業中は閑散期と言われているが、仕事や部活動もあり実際休めていないのが現状である。学期中の、夕方までの時間の子どもの迎え、食事の話、通院などに、**年休を取得する必要**が出てくる。1日8時間以上働かせるのは**不健康**である。これ以上、ブラック企業化させないため、運用の強制には、皆で反対の声を上げよう。

先読み加配！

○文科省は公立小・中学校の産育休代替教員を4月の当初から配置できるように加配の運用を見直す。年度途中に学級担任が正規教員から代替教員に切り替わることがないようにする。産育休に入る前から配置できるようにする。5月1日から7月31日まで産育休と育休の取得予定者がいる学校が対象。

変形労働時間制!?



は実現した。特別支援学級の定数8人については市として強く減らす要望をしている。（加配と教室についても）と答えた。
多忙化解消を進めよ。タイムカードと出勤簿の両方はいらないという意見に関しては、「出勤簿があると勤務の状況が把握しやすくなる。」と述べた。
教員未配置問題において、産育休代替を4月から補充し勤務させる「先読み加配」について文科省から通知が来ているはずだ。活用して欲しい。の質問に「教職員が増えるのならないと思う。」と答えた。
学校トイレの生理用品設置に関しては、「ストックはある。養護教諭に指導してもらおうようにしている。」と答えた。